



城北中だより

令和7年 如月

城北中学校教育目標

- 思いやりのある生徒
- 真剣に学ぶ生徒
- 健康な生徒

令和7年2月3日 発行

新入生保護者説明会～大きな目的の1つが「中1ギャップの解消」～

校長 和田 卓也

昨日は「節分」、本日「立春」となります。暦の上では、いよいよ春を迎えますが、まだまだ寒さが厳しい日々が続いております。皆様におかれましては、体調など崩されることなくお過ごしでしょうか。報道等でもある通り、今年はインフルエンザが例年に比べて流行しており、体調管理がより一層重要となっています。本校でも感染等拡大防止の観点から適宜対応を行なっているところです。ご家庭におかれましても、引き続き予防対策へのご協力をお願い申し上げます。

さて、今回は先日実施した新入生保護者説明会について触れてみたいと思います。この会の目的は、入学前に保護者に適切な情報をお伝えすることで、広い意味で中1ギャップの緩和を目指したものです。改めてですが、「中1ギャップ」とは、中学校に入学したばかりの生徒が、環境の変化や学習内容の変化になじむことができず、不登校になったり、いじめを含めた様々な問題が起こったりすることを指します。「中1ギャップ」が生じる背景については、様々な要因が指摘されています。例えば、発達段階での「思春期の到来」等、内的な要因もその一つですが、これには個人差があり、解決法についても一概には決められません。そこで、私は、まずは外的な要因（不連続性・溝）に着目し、学校や家庭の在り方に着目すべきだと考えています。今回の説明会では、以下の内容をお伝えしました。



【学校の課題…不連続性が生じる要因】



「現実の入口(小学校入学時)の姿から積み重ねて考えがちな小学校」



(結果的に接続時に不連続性・溝が発生)

「理想の出口(中学校卒業時)の姿から、逆算して考えがちな中学校」

【課題解決のために…義務教育9年間で子どもを育てる「小・中一貫教育の推進」

小学校→「出口(義務教育終了段階)の姿を意識して指導」

中学校→「これまでの積み重ねを意識して指導」

【家庭(保護者)の課題…不連続性が生じる要因】



「まだ、子どもなんだから…」小学校の保護者



子ども「いきなり大人扱いされても無理!!」(不連続性・溝が発生)

「もう(すぐ)、大人なんだから…」中学校の保護者

【課題解決のために…その年齢(発達段階)なりの「育みたい力」の育成・対応】

(例) 小学校(各年齢なり)の「規範意識」→中学校卒業時の「規範意識」へ

この内容は、本校の生徒にも当てはまります。中学生だからといって、いきなり大人扱いをされて困っている生徒をよく見かけます。身に付いていないことは、適宜、前の段階に戻り、丁寧に指導することも必要だと強く感じる今日この頃です。ご家庭でも、意識していただくと幸いです。

2月の予定

日	曜	学校・学年行事等
3	月	3年三者面談
4	火	2年校外学習
5	水	
6	木	3年学年末テスト1日目
7	金	3年学年末テスト2日目
10	月	安全点検日
11	火	建国記念の日
12	水	
13	木	部活動停止期間(19日)まで
14	金	学校運営協議会
17	月	
18	火	1・2年学年末テスト1日目
19	水	1・2年学年末テスト2日目 小・中一貫教育推進委員会
20	木	専門委員会
21	金	水④⑤⑥+金④⑤⑥
24	月	天皇誕生日(振替休日)
25	火	金曜授業
26	水	3年県公立入学者選抜学力検査 3年②③④⑤⑥カット
27	木	3年県公立入学者選抜実技検査 火曜授業
28	金	1年館岩自然の教室(～3/2) 木曜授業 3年給食最終日

※1月の安全点検の結果、安全上の問題はありませんでした。

特別支援学級作品展

岩槻区の特別支援学級による作品展が1月24日(金)から26日(日)まで開催されました。
本校の生徒たちは24日(金)に受付業務や他校の生徒の作品見学のため、コミュニティーセンターいわつきに行ってきました。



【お詫び】

学校だより 1月号において、表彰の際の氏名に誤りがありました。
お詫びして訂正いたします。

「さいたま市人権作文 入選」
安藤 柚稀

コミュニティ・スクール通信「コミ丸」について(さいたま市教育委員会から)

コミュニティ・スクール広報紙「コミ丸」発行のお知らせ

教育委員会では、コミュニティ・スクールをはじめとした、「学校と家庭と地域をつなぐ事業」について、「詰めこみ、丸ごと」掲載する広報紙「コミ丸」を発行しています。学校と家庭と地域の皆さんとの協働活動や子どもたちの活動の様子などをお伝えしています。右の二次元コードからアクセスできますので、ぜひご覧になってください。

